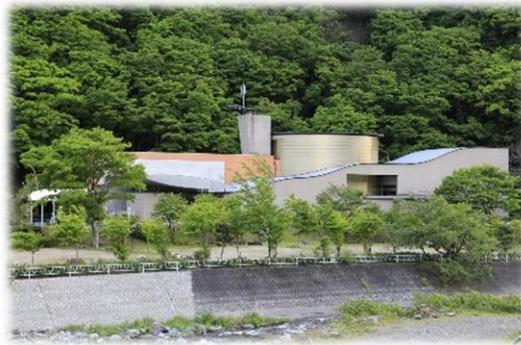


甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

THE Yu-no-oku MUSEUM OF GOLD MINING HISTORY



おとなも こどもも みんなが「学んで楽しむ」ことができる博物館☆



山から金鉱石(金がいった石)をとってくる



石臼で鉱石を粉状にする(石臼にはいろいろな形の臼があるよ)



「汰り板」という道具で、金が見つかる



よぶんなものをもって、まじりけのない金にする

むかしの人はどうやって、金鉱石をとったんだろう？ じつは、金をとるにはいくつかの作業が必要だったんだよ。

この博物館では、「湯之奥金山遺跡」で発見されたものから、500年前の人たちがどうやって山から金をとっていたのか(鉱山作業)、どんなふうに住らしていたのかということを紹介。

砂金採り体験室では、「汰り分け」という鉱山作業のひとつを体験できるんだ。砂の中から、金が見つかることや水の力をつけて金のつぶ(砂金)を見つけていくよ。とった金は、おうちに持って帰れるとても楽しい体験！

金山クイズ

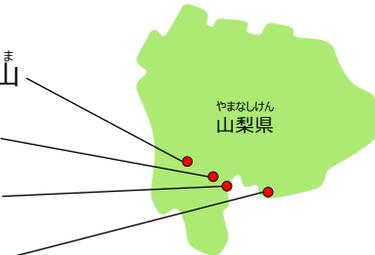
何問できるかな？

※こたえは次のページにあるよ

第1問

博物館が紹介している「湯之奥金山」はどの山にあるでしょうか？

- ① 富士見山 (1640m)
- ② 醍醐山 (634m)
- ③ 毛無山 (1964m)
- ④ 富士山 (3776m)



第2問

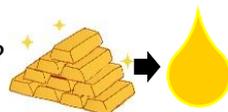
砂金採り体験室では、むかしの人の作業を体験し、たくさんの中から金を見つけます。では、砂の中から金をとりだすには何をつかうでしょうか？

- ① 火
- ② 水
- ③ 風
- ④ 光

第3問

水は0℃で固体(氷)から液体(水)に、100℃で気体(水蒸気)へと温度によって状態が変わります。

では、金が固体(かたまりの状態)から、ドロドロの液体にとけるのは何度でしょう？

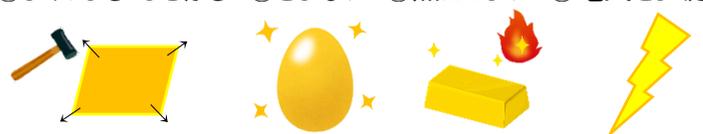


- ① 718℃
- ② 960℃
- ③ 1063℃
- ④ 1447℃

第4問

アルミニウムでできた1円玉は、水に浮くくらい軽いという特長があります。では、金にはどんな特長があるのでしょうか？

- ① よくのびる・ひろがる
- ② さびない
- ③ 熱につよい
- ④ 電気をよく通す



ぬりえ -ステンドグラス風もーん父さん Ver.-

もーん父さんとおともだちのネコちゃんをかわいくぬってあげてね



湯之奥金山博物館 利用案内

<開館時間>

7月～9月 午前9時～午後6時(最終受付は午後5時30分)
10月～6月 午前9時～午後5時(最終受付は午後4時30分)

<休館日>

毎週水曜日休館(祝日の場合はその翌日)
※8月は無休開館 12月28日～翌年1月1日は年末年始休館

<料金>

	大人	中学生	小学生	幼児
①展示観覧	500円	400円	300円	無料
②砂金採り体験	700円	600円	500円	500円
観覧・体験(①+②)	1100円	900円	700円	500円

<アクセス>

- ・お車でお越しの場合
中部横断道下部温泉・早川ICから約5分
- ・電車でお越しの場合
JR身延線「下部温泉駅」下車、メロディーブリッジを渡って徒歩3分



☆イラストはたえ☆ 第1間: ③ 毛無山は山梨県と静岡県との境にある。 第2間: ② おつかいしては比重選航といふ。 第3間: ③ ちなみに①は船、②は銀、④は鉄だ。 第4間: せんぷい解いみんな金の持長だよ。 いんまは